



平成 17 年 3 月 22 日

各 位

会 社 名 アクモス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 飯島秀幸
(JASDAQ・コード 6888)
問 合 せ 先 管理部次長 中川智章
電 話 番 号 03- 3239- 2377

株式会社エクスカルの株式取得 (子会社化)及び業績予想 (連結)の修正に関するお知らせ

当社は、持分法適用会社の株式会社エクスカル (以下、「エクスカル」)の株式260株を当社の連結子会社の株式会社エルテックス (以下、「エルテックス」)から譲り受ける株式売買契約について、平成17年3月22日開催の取締役会において下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、この契約による株式取得により、エクスカルは、当社の持分法適用会社から連結子会社となり、同社の直近事業年度の末日における純資産額が、当社の前連結会計年度末の純資産額の100分の30以上に相当すること、ならびに株式の譲り受けに要する金額が、当社の前連結会計年度末における資本の金額の100分の10以上に相当することから、特定子会社となる予定です。

記

1. 株式の取得の理由

エクスカルは、ハードウェア、ソフトウェアの検証や IT関連製品の性能、機能、品質の試験評価のほか、USBやxD-ピクチャーカードなどの規格認定試験など各種 IT関連製品の第三者検証に関わるトータルサービスを専門的に提供する企業です。アメリカ合衆国のNational Technical Systems, Inc. (カリフォルニア州 カラバサス NASDAQ:NTSC 以下、「NTS」)から50%の出資を受けており、NTSとの連携で第三者検証の分野で先端のサービスを提供しております。

第三者検証、規格認定等によりIT関連製品を試験評価することは、重要性の高い専門サービス事業であり、今後の情報家電等の開発ならびにその実用的な普及においても不可欠なサービスで将来性が期待できます。エルテックスは、エクスカルの設立当初から出資し、経営に参画するなどの支援を行ってまいりましたが、同じ情報技術事業の分野でも両社の事業領域は異なっております。

今後の当社グループの情報技術事業の発展並びに両社の成長戦略を成功に導くためには、当社がエクスカルの株式を直接所有することにより、それぞれの事業の専門性を生かすことが必要と判断し、エクスカルの株式を取得することになりました。

2.異動する子会社(株式会社エクスカル)の概要(平成17年1月31日現在)

- (1) 商号 株式会社エクスカル (XXCAL JAPAN, Inc.)
 (2) 代表者 代表取締役社長 長澤 一嘉
 (3) 所在地 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
 (4) 設立年月日 平成10年3月30日
 (5) 主な事業内容 IT関連製品の第三者検証、規格認定、テストサービス
 (6) 決算期 1月31日(当社の株式取得に伴い12月31日に変更予定)
 (7) 従業員数 13名
 (8) 主な事業所 本店所在地と同じ
 (9) 資本金 2,600万円
 (10) 発行済株式総数 520株
 (11) 大株主構成及び所有割合

NTS 50%
 エルテックス 50%

(12) 最近事業年度における業績の動向

	平成16年1月期	平成17年1月期
売上高	222百万円	494百万円
売上総利益	165百万円	390百万円
営業利益	41百万円	184百万円
経常利益	42百万円	184百万円
当期利益	24百万円	109百万円
総資産	102百万円	296百万円
株主資本	71百万円	181百万円
1株当たり配当金		

3.株式の取得先

- (1) 商号 株式会社エルテックス
 (2) 代表者 代表取締役社長 犬飼 邦夫
 (3) 本店所在地 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
 (4) 主な事業内容 ソフトウェア開発及び企業の情報化や電子商取引支援等のシステムインテグレーション事業
 (5) 当社との資本関係、人的関係、取引関係等の概要
 資本関係 当社の連結対象特定子会社 議決権の所有割合82.2%
 人的関係 役員兼任 2名
 取引関係 当社費用の一部を分担

4.取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 0株 (所有割合 0%)
 (2) 取得株式数 260株 (取得価額 182百万円)
 (3) 異動後の所有株式数 260株 (所有割合 50%)

5.日程

平成17年3月22日 取締役会決議
 平成17年3月31日 譲受代金支払期日
 株券不発行のため、譲受代金の支払期日が取得日となります。

6.今後の見通し

子会社化後の連結業績見通し

(1)平成17年6月期(平成16年7月1日～平成17年6月30日)

エクスカルの子会社化にともない、平成16年8月18日付当社「平成16年6月期の決算短信」にて発表いたしました平成17年6月期の通期(連結)業績予想を下記のとおり修正いたします。なお、通期(単独)業績予想につきましては変更ありません。

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	1,700	67	47
今回予想(B)	1,850	97	55
増減額(B-A)	150	30	8
増減率	8.8%	44.0%	17.0%

(注)

- 従来、エクスカルの中間会計期間(2月から7月の6ヶ月間)の当期損益を基準に計算した数値を当社の中間連結会計期間に、エクスカルの事業年度(2月から翌年1月の12ヶ月間)の当期損益を基準に計算した数値を当社の連結会計年度にそれぞれ持分法投資損益として反映しておりました。
 上記の連結業績予想においては、エクスカルの平成16年2月から平成17年1月までの12ヶ月間については持分法を適用し、平成17年2月から6月の5ヶ月間については平成17年6月末日現在の仮決算に基づく財務諸表により連結財務諸表を作成するものとして予測を行っております。
- エルテックス単体において発生する投資有価証券売却益については連結財務諸表の作成上相殺されるため、上記の業績予想には含まれておりません。

(2)平成18年6月期

連結売上高	2,400百万円(500百万円)
連結営業利益	280百万円(150百万円)
連結経常利益	280百万円(150百万円)
連結当期純利益	107百万円(44百万円)

上記(1)ならびに(2)の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報、並びに将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

【参考】

1. エクスカルの平成17年12月期(自平成17年2月1日至平成17年12月31日)の事業計画

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
平成17年2月1日～ 平成17年6月30日	150	30	16
通期	460	131	71

(注) エクスカルは、当会計期間中に決算期を1月から12月に変更する予定にしております。このため中間期の表示に代えて便宜的に平成17年2月1日から6月30日まで5ヶ月間の計画値を、通期については、平成17年2月1日から12月31日までの11ヶ月間の計画値を記載しております。

2. サービスの種類別売上高

(単位:百万円)

	平成17年6月中間期	平成17年12月通期
規格認定試験	70	200
第三者検証試験	80	260
合計	150	460

3. 認定団体および認定資格試験

エクスカル、NTSが行っている第三者検証、規格認定サービスに関連する認定団体および認定試験代行資格の主なものは下記のとおりであります。

認定団体(抜粋)

NRTL :Nationally Recognized Testing Laboratory(USA)
 NVLAP :National Voluntary Laboratory Accreditation Program
 A2LA :The American Association For Laboratory Accreditation
 RTA :Australia Recognized Testing Authority
 CAB :European Union Conformity Assessment Body
 BSMI :Bureau of Standards, Metrology and Inspection
 VCCI :Japan, Voluntary Control Council for Interference by
 Information Technology Equipment
 USB-IF :USB Implementers Forum, Inc.

認定試験代行資格(抜粋)

EMC/EMI
 FCC(Part 15,18,68)
 NEBS :Network Equipment Building Systems(Bellcore)
 CE Mark
 UL 1950/60950
 VCCI
 USB2.0 Compliance Program
 Microsoft X-Box Certification
 XD-Picture Card Connector Compliance Program

以上